

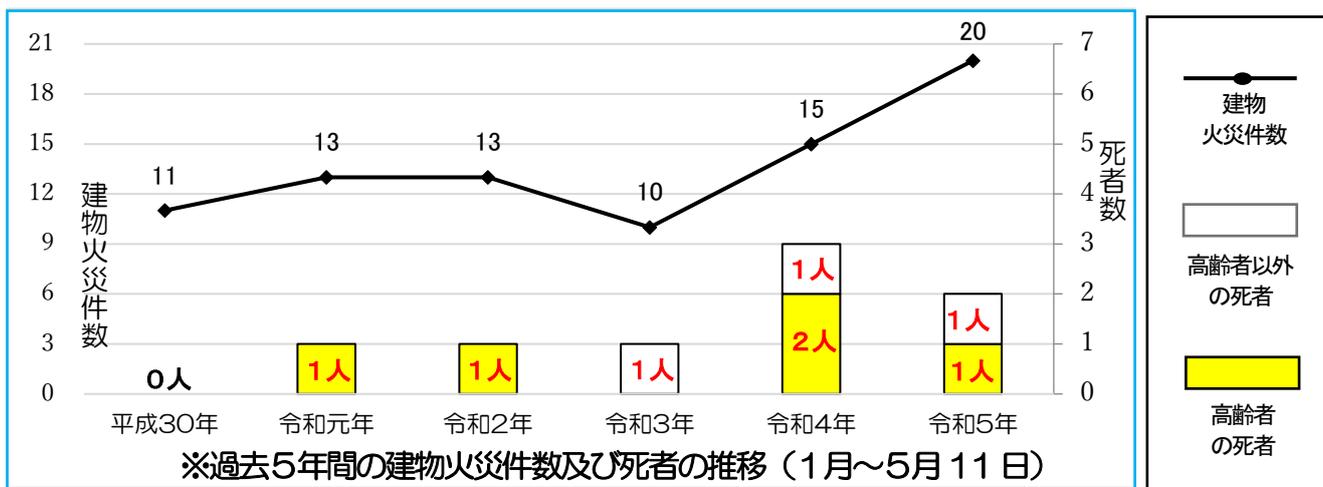


山形市消防本部管内で 建物火災が多発!!

令和5年1月～5月で**建物火災 20件** 死者 2人

1月から5月の期間内、**過去5年で最多!**

過去5年の同時期平均建物火災件数 **12件**



火災の主な出火原因	
ガスコンロ	天ぷら油の過熱による出火が多く、調理中にその場を離れたことが原因で発生しています。
電化製品	標準使用期間を超えて使用している製品は、経年劣化等により出火する危険性が高く注意が必要です。
電気配線	コードを束ねた物や、踏みつけ等により損傷した電気配線は、短絡する危険性が高く注意が必要です。
仏壇等のろうそく	ろうそくの火による着衣着火は、高齢者に多く発生しています。難燃性の衣類を着用する等の予防が必要です。
アロマキャンドル	アロマキャンドルの炎が、周囲の可燃物に燃え移り出火する危険性があります。周囲に燃えやすい物を置かない、その場を離れない等の注意が必要です。
たばこ	吸い殻は水などで完全に消火してから捨てましょう。
モバイルバッテリー	本体内部のリチウム電池は、強い衝撃により出火することがあるため、衝撃を与えた物は使用しないなどの注意が必要です。
放火	建物の周囲には可燃物等を置かない! <u>放火防止対策</u> を・・・

火災は、ちょっとした不注意で発生するベニ・・・
出かける前、寝る前は、火の元を点検するベニ!



山形市消防本部
予防課



いのちを守る10のポイント

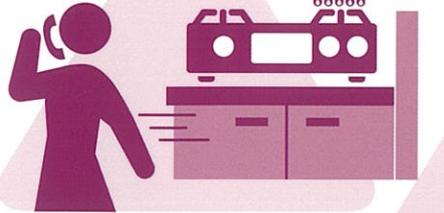
4つの習慣



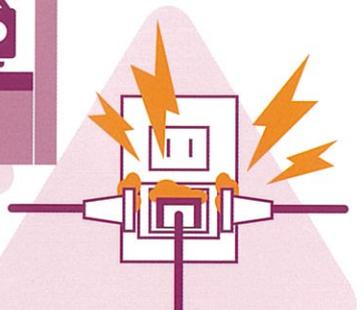
1 寝たばこは絶対にしない、させない



2 ストープの周りに燃えやすいものを置かない

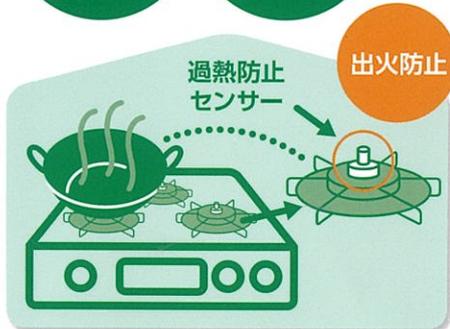


3 こんろを使うときは火のそばを離れない

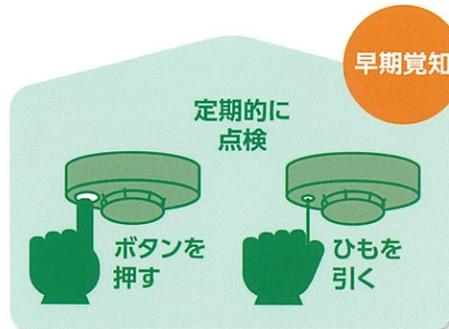


4 コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く

6つの対策



1 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する



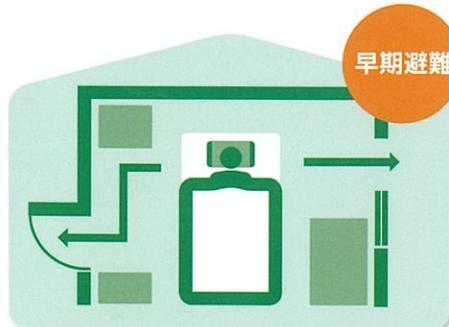
2 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する



3 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防炎品を使用する



4 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく



5 お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく



6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う



消防庁

Fire and Disaster Management Agency

<https://www.fdma.go.jp/>

お問合せ先

山形市消防本部予防課 023-634-1195